

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ひらつか花アグリ推進事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、農業者	事業期間	平成22年度 ~
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 農業者団体、地域住民団体等】		
	目的・目標		事業の概要
ひらつか花アグリが本市の農業振興の拠点としての効果を発揮することにより、地域農業が振興し、市民・県民等の農業への理解が深まっています。		農業振興や農業理解を進めるため、農の体験・交流館の円滑な運営を図るとともに、ひらつか花アグリへの来場者の確保を図る取組みを進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ひらつか花アグリ広報活動			単位	媒体
	説明・算定式	ひらつか花アグリが集客効果を高めるため、多様な広報媒体の活用を図る(活用する広報媒体(広報ひらつか、リーフレット配布、観光マップ、ホームページ等)数)				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	6	6	6		
活動指標②	指標名	連携事業の実施回数(平成27年度から)			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績			6		
成果指標①	指標名	ひらつか花アグリ来訪者数			単位	人
	説明・算定式	花菜ガーデン来場者数、JA湘南大型直売センター来店者数、大型市民農園来園者数及びいちご狩り農園来園者数の合計値				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	637,753	668,157	640,385		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
ひらつか花アグリへの来場者の確保を図りつつ、各施設が連携したイベントを開催しました。また、農業に親しむ場を提供するなど農業理解を図りました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「花と緑のふれあい拠点(仮称)構想」及び「農の体験・交流の場」基本計画に基づき、県・市・関係団体等が連携して農業理解の促進や地産地消を推進する事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地域農業の振興、農業理解の促進、地産地消の推進等を図るため、引き続き県・市等が連携して計画的、横断的に事業を進めることが効果的です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域農業の振興及び地産地消の推進等を目的として、農業者及び市民を対象にした事業を展開するものであり、妥当性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	行政(県・市)とJA湘南等の関係団体、地域農業者、地域住民が、それぞれの役割を分担することで、効率的で効果的な事業展開を進めています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 花菜ガーデンでは、バラの開花時期以外にも春のチューリップや夏季のイベント開催などに取り組み、来場者数を確保してきましたが、今後は、花アグリ全体で来場者数が増えるように工夫していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		農の体験・交流館管理運営、花畑創出事業等	農の体験・交流館管理運営、花畑創出事業等	農の体験・交流館の管理運営、地域との連携事業の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	546	392	398
	一般財源	2,326	2,272	2,227
事業費 (A)		2,872	2,664	2,625
執行率 (%)		98.52	90.09	93.09

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 花アグリ全体で来場者数を増やすために、農の体験・交流館、あさつゆ広場、花菜ガーデンなど各施設のさらなる連携を図り、花アグリ事業者連絡会などの打ち合わせの機会を増やして検討し、集客効果の高いイベント開催につなげます。
課長コメント ひらつか花アグリ開設後、来場者数が初めて前年割れとなりましたが、賢治ゆかりのバラの寄贈及び花菜ガーデンへの植栽を受け、宮沢賢治を取り上げた新たなイベントの展開などにより、集客増につなげていく必要があります。